

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ケアクラーク請求実務		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	メディカルクラークユニット履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医療事務基礎				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医事接遇マナー、ケアクラーク関連法規				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堀口 智栄子	非常勤講師室	金の10時～13時（授業時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
介護保険制度とその運用について、サービスの種類とその請求についての必要な知識および習得を図る。				
授業の目標				
①医療保険制度と介護保険制度の仕組みの違いを理解し、認定の流れを説明できるようにする。 ②サービスの種類ごとにある算定の条件に基づき正しい算定を遂行することができるようにする。 ③各様式の給付費明細書に記載要領に基づき、明細書の作成を行うことができるようにする。 ④専用のPCソフトを活用し、正確な請求をスピーディーに行うことができるようにする。				
授業の方法				
演習問題の事例を検討しながら、正確な請求事務と居宅サービス・施設サービスそれぞれの理解を図る。				
学習の成果（学習成果）				
介護事務技能認定試験の実技部分についてに合格する力を習得できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	介護保険制度・要介護認定の仕組み			
第3回目	介護サービスの種類			
第4回目	居宅サービス①			
第5回目	居宅サービス②			
第6回目	居宅サービス③			

第7回目	居宅サービス④	
第8回目	居宅サービス⑤	
第9回目	施設サービス①	
第10回目	施設サービス②	
第11回目	施設サービス③	
第12回目	介護給付費明細書記載について	
第13回目	介護給付費明細書作成 PC①	
第14回目	介護給付費明細書作成 PC②	
第15回目	介護給付費明細書作成 PC③	
事前・事後学習	授業の内容をもとに、症例問題にて復習しておくこと。不明な点があれば積極的に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	出された課題に集中して取り組んでいる。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	期末試験を実施し、授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
介護保険請求実務テキスト1（ニチイ学館）、介護保険請求実務別冊（ニチイ学館）、介護給付費明細書（ニチイ学館）、介護事務基礎問題集（ニチイ学館）、介護事務認定問題集（ニチイ学館）		
履修上の留意点・ルール		
毎時間、講義（説明）と実技（演習）を繰り返し行うので積極的な授業参加が望ましい。 PCソフトを活用した学習もする中で、後期に目指す試験では手書き明細書の作成となるのでPCに頼らない作成を理解していることが必須である。 電卓を必ず用意すること。		